

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : SAFFIL
製品タイプ : LD, M-Fil, 3D+, LA, HA, HX, RF, SF
CAS 番号 : 675106-31-7

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 高温アプリケーションでの工業用。

会社情報

製造者/供給者

Alkegen (formerly Unifrax)
WA11 8LP

United Kingdom St Helens, Merseyside Mill Lane, Rainford
T + 44 (0) 1744 88 7600

www.alkegen.com

SDS 担当の有資格者の電子メールアドレス

reachsds@alkegen.com

輸入業者

Unifrax Japan Limited

Japan Chiba 261-7114 Nakase 2-6-1 WBG Marive East 14F

T 043-297-3924 - F 043-297-3925

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 労働衛生とケア : 電話 : + 44 (0) 1744 887603、Email: reachsds@alkegen.com
(8.15-17.10 h)、言語 : 英語

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

分類されていない

他の危険有害性

他の危険有害性 : 皮膚、目、呼吸器系に機械的刺激を引き起こすことがあります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 物質
化学名 : 多結晶ウール (PCW)

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
多結晶ウール (PCW)	-	-	-	-	675106-31-7

コメント

: PCW は、CAS 番号の組み合わせによっても識別できます。1344-28-1 (繊維状酸化アルミニウム)、7631-86-9 (シリカ、非晶性)、または 1302-93-8 (ムライト)。

安全データシート

SAFFIL

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 疑わしい場合、または症状が認められる場合、医師の治療を受ける。
- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移す。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で優しく洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
無理に吐かせてはいけない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 吸入した場合 : 呼吸器系及び粘膜を刺激する。
機械的刺激。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 一時的な軽度の炎症を引き起こすことがある。
機械的刺激。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 眼粘膜に一時的な軽度の炎症を引き起こすことがある。
機械的刺激。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 製品は引火性ではない、泡消火剤、乾燥粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災危険性 : 不燃性。
- 爆発の危険 : 物質は爆発性ではない。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : なし
- 消火方法 : 消火に使用した水が環境中に流出しないようにする。
- 消火時の保護具 : 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : いかなる粉じんも生じないようにする。
粉じんを吸い込まないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。

非緊急対応者

- 保護具 : 使用する個人用保護具については第 8 項を参照する。
- 応急処置 : 未許可の職員の立ち入り禁止。

緊急対応者

- 保護具 : 十分な換気を確保する。
使用する個人用保護具については第 8 項を参照する。

安全データシート

SAFFIL

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

応急処置	: 取扱いは資格または認可を得た人員のみが行う。
環境に対する注意事項	
環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
浄化方法	: (箒で掃除したり、シャベルでかき回したりしながら)道具を使って集め、廃棄のために、適切な容器に入れる。 粉じんの生成を最小限に減らす。 粉塵は HEPA (高効率微粒子空気) フィルターを含む真空掃除機で吸引できます。
その他の情報	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 放出点で粉じんの収集。
安全取扱注意事項	: 使用前に取扱説明書を入手すること。 作業所の十分な換気を確保する。 指定された個人用保護具を使用すること。 粉じんを吸い込まないこと。 皮膚、眼との接触を避ける。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染エリアは徹底的に洗浄する。
接触回避	: データなし
衛生対策	: 飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染エリアをマイルドソープと水で洗浄する。

保管

安全な保管条件	: 製品は必ず元の容器に保管する。 密封容器に入れ、乾燥した冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	: データなし
共用保管室に関する情報	: 動物用のものも含めて、食べ物や飲み物から離れた所に保存する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 作業所の十分な換気を確保する。
保護具	
呼吸用保護具	: 粉じんの放出: フィルターP2の防じんマスク
手の保護具	: 革製の保護手袋
眼の保護具	: サイドシールド付き安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護具を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。
その他の情報	: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと、作業衣を自宅に持ち帰らない、汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること、作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。

安全データシート

SAFFIL

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
外観	: 繊維
色	: 白色
臭い	: 無臭
pH	: 非該当
融点	: > 1800 ° C
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: 自然発火しない。
分解温度	: データなし
可燃性	: 不燃性
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 3 - 3.5 g/cm ³
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水: < 1 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発特性	: 非爆発性。
爆発限界 (vol %)	: データなし
酸化特性	: 非酸化
動粘性率	: データなし
その他の性質	: 製品に含まれる繊維の長さ加重幾何平均径 : 3-4 µm。
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件下では安定。
化学的安定性	: 製品は通常の下での取扱いおよび保管において安定である。
危険有害反応可能性	: 危険な反応は一切見られない。
避けるべき条件	: 追加情報なし。
混触危険物質	: なし。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

安全データシート

SAFFIL

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

11. 有害性情報

その他の情報

: 慢性的な影響:

ラットの生存期間中に行われた多結晶繊維吸入試験では、試験した最大用量レベルでは、肺癌、肺線維症、またはその他の重大な有害作用の徴候は見られませんでした。ラットにおける腹腔内、気管内、胸膜内試験および2つの *in vitro* 試験はすべて陰性の結果を示しました。いくつかの試験の限界にもかかわらず、動物研究において一貫して発がん性の応答が見られなかったことに注目することが重要です。

1988年、国際がん研究機関 (IARC) は、いくつかの繊維グループの発がん性を検討しました。彼らが検討したグループの1つは、異種繊維タイプ[多結晶繊維、耐火性セラミック繊維 (RCF)、単結晶ウイスキー]の集合を、「セラミック繊維」と呼ばれる広範な単一のカテゴリーに分類する不十分な定義でした。IARCのモノグラフは、多結晶繊維に特有の試験データは陰性であることを明確に示していました。しかし、IARC分類の原則によれば、他の繊維タイプで陽性の結果となれば、グループ内のすべての繊維をヒト発がん性物質とみなすというものでした (IARC分類 2B)。MMVF (2002年) に続くモノグラフでは、IARCは多結晶繊維を再評価しませんでした。米国国家毒性プログラム (NTP) (最新版) が作成した発がん物質に関する年次報告書は、「セラミック繊維 (吸入可能なサイズ)」を発がん物質であるとみなされるに分類しています。

製造時、Saffilを含むほとんどの多結晶繊維は、吸入可能なサイズとしては繊維の直径が大きすぎます。多くの科学研究は、吸入可能な繊維の潜在的な毒性は、生物持続性 (繊維が肺から除去されるのに要する時間) に直接関連することを示唆しています。擬似肺液中の繊維の溶解速度を測定する限定された *in vitro* 試験分析に基づいて、多結晶繊維は比較的持続性があることが知られています。多結晶ウール (PCW) 労働者の呼吸器調査研究のデータは入手できません。過去に RCF およびその他繊維に PCW と一緒に曝露した労働者の小集団では、胸部 X 線写真での間質性肺疾患の証拠も、肺機能検査における肺機能の喪失の加速化もありませんでした。症状の反応は、PCW への曝露に起因するものでも、それを除外するものではなく、それ以前の繊維への曝露の結果です。

急性毒性 (経口)

: 区分に該当しない

(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

急性毒性 (経皮)

: 区分に該当しない

(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

急性毒性 (吸入)

: 区分に該当しない (分類対象外) (気体)

区分に該当しない (分類対象外) (蒸気)

区分に該当しない (粉じん、ミスト)

(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

多結晶ウール (PCW) (675106-31-7)

LD50 経口 ラット

> 4000 mg/kg bodyweight (OECD 407 法)

皮膚腐食性/刺激性

: 区分に該当しない

(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

多結晶ウール (PCW) (675106-31-7)

pH

非該当

安全データシート

SAFFIL

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分に該当しない
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

多結晶ウール (PCW) (675106-31-7)	
pH	非該当

呼吸器感受性 : 区分に該当しない
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

皮膚感受性 : 区分に該当しない
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

発がん性 : 区分に該当しない
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

生殖毒性 : 区分に該当しない
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分に該当しない
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分に該当しない
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

誤えん有害性 : 分類できない
(該当しない)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

残留性・分解性

多結晶ウール (PCW) (675106-31-7)	
残留性・分解性	非該当。

生体蓄積性

多結晶ウール (PCW) (675106-31-7)	
生体蓄積性	非該当。

土壤中の移動性

多結晶ウール (PCW) (675106-31-7)	
土壤中の移動性	データなし
生態系 - 土壌	非該当。

安全データシート

SAFFIL

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 区分に該当しない
(利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない)

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 国、地域の規制に準拠して廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号		
非該当	非該当	非該当
国連正式品名		
非該当	非該当	非該当
輸送危険物分類		
非該当	非該当	非該当
容器等級		
非該当	非該当	非該当
環境有害性		
非該当	非該当	非該当

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法) : 非該当

その他の規制情報

その他の情報、制限及び禁止法規 : 記載あり—日本 ENCS (既存化学物質)インベントリー

安全データシート

SAFFIL

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

16. その他の情報

参考文献

: メーカー仕様。
出展: 欧州化学品庁、<http://echa.europa.eu/>。

その他の情報

: Occupational Hygiene: dawn.webster@alkegen.com。

。ケア・プログラム

ECFIA は、高温断熱ウール (HTIW) 業界を代表して、HTIW を含むすべての製品のユーザーを援助する目的で、大規模な産業衛生プログラムを実施した。

その目的は 2 つある :

- ・製造者と利用者の両方の建物において、作業現場の粉塵濃度をモニタリングすること。
- ・産業衛生の観点から、暴露を低減させるための適切な推奨事項を確立する目的で、HTIW(リフラクトリーセラミックファイバー) 製品の製造と使用を文書化すること。

本資料に記載されている情報は、この安全データシートの発効日時時点で信頼でき、正確であると考えられています。雇用者は本 SDS を使用して、従業員の健康と安全と製品の適切な使用を保証するために、収集した他の情報を補うことができます。関連データのこの要約は、専門的判断を反映しています。雇用主は、関連がないとみなされる情報は、この SDS に含まれていないことに注意してください。したがって、この文書の要約的性質を考慮して、Unifrax は、この情報の完全性またはユーザーが想定する目的に対する適合性に関して (明示または黙示を問わず)、いかなる責任も負わず、また表明を行うこともありません。